

令和4年度第1回文化財保護審議会 議事

第1回文化財保護審議会

- ◆日時 令和4年7月8日(金) 13時30分から
- ◆場所 舞鶴市役所 中会議室
- ◆出席委員 伊庭 節子委員、上杉 和央委員(オンライン参加)、瓜生 勝朗委員、加藤 晃委員、坂根 章委員、長谷川 達委員、日向 進委員、稗田 洋子委員、廣瀬 邦彦委員、松尾 象空委員 計10人
- ◆事務局等 市民文化環境部長 福田 伸一、文化スポーツ室長兼文化振興課長 三方 理江、歴史文化まちづくり担当課長 松本 達也、歴史文化まちづくり係 松崎 健太、荒井 誠、森 香那子

1. 開会

部長あいさつ

会長あいさつ

事務局紹介

2. 報告事項

- ◆令和4年度文化財関係事業について
事務局より今年度事業について説明

3. 協議事項

- ◆令和4年度文化財指定・登録候補の選定について

【事務局】

- 昨年度から継続案件としている「赤岩山天然スギ林」を今年度の指定候補に提案。
赤岩山は舞鶴・宮津市境の大江山山系にあり、赤岩山から西側の舞鶴最高峰宇野ヶ岳(694㍎)にかけての稜線一帯にスギの原生林が良好に分布している。1本立ちしているスギもあれば、根元から複数に枝分かれして生えているスギもあり。スギの原生林は珍しく、指定に向けて調査を進めたい。
- その他、「水無月神社所蔵絵馬」、「セツブンソウ群生地」について指定候補一覧にこの度加えた。「水無月神社所蔵絵馬」は、昨年度に認知に至ったもの。保存状態が非常に良く、江戸時代の絵馬が3件含まれていることなど貴重。
「セツブンソウ群生地」は、京都府のレッドデータブックでは絶滅危惧種とされ、環境省のレッドリストにも挙がっているセツブンソウについて、群生地の情報提供があり、今回リストに加えたもの。

【委員の主な意見】

- 赤岩山頂上付近に天然スギが数百本自生している。本市の豊かな自然として、指定いただきたい。
- 舞鶴市では文化財保存活用地域計画も策定されており、歴史文化遺産の保存・活用・継承をまちづくりの核としている。もう少し指定調査件数があっても良いのではないか。体制も含めて検討頂きたい。
- 絵馬について、写真を見る限り保存状態が良い。指定候補になるのではないか。
- アンジャ遺跡の石斧について、おそらく縄文時代だろうといわれており、類例もない。

→赤岩山系宇野ヶ岳に自生する天然スギ林、水無月神社所蔵絵馬等について、今年度の文化財指定候補として調査・検討を進める。

【その他の意見】

- 文化財指定候補一覧の定期的な現状の確認や、修正等検討ができる機会を設けた方が良い。

→（事務局）検証する機会を設けたい。

4. その他（事務局から報告事項）

◆田辺城ガイドについて

- ・田辺城ガイド養成講座について、田辺城ガイドの会が6月に京都府の観光連盟から「京都府功労団体表彰」を受けた。

◆郷土資料館について

- ・郷土資料館・田辺城資料館主催、夏休み企画

◆両丹文化財保護連絡協議会

- ・京丹後市で開催予定

以上